

議会だより



第54号の掲載内容

- 第2回定例会の概要…………… 2 P～3 P
- 一般質問…………… 4 P～5 P
- 第2回臨時会の概要…………… 5 P
- 委員会の活動…………… 6 P
- 行政視察及び研修会報告… 7 P～8 P
- 議会の行事…………… 8 P

鹿部稲荷神社例大祭が7月7日、8日、9日の3日間開催され、恒例行事となっている小学生相撲大会が9日、鹿部稲荷神社境内の土俵で行われました。夏の暑い日差しの中、ちびっ子力士たちも熱い戦いを繰り広げ、観客から大きな歓声が飛び交っていました。

～平成25年第2回定例会～

ひまわり団地A棟新築工事契約可決！
(建築主体) 4億1,244万円
(機械設備) 9,124万5千円



ひまわり団地 完成予想イメージ図
※イラストの左側がA棟です。

平成25年第2回定例会は、6月13日に招集され会期を2日間と決め町長の行政報告のあと、1名の議員が一般質問を行いました。また、承認3件、条例2件、契約2件、補正予算2件、その他議案2件の審議を行い、全て原案のとおり可決及び承認され会期を1日残して閉会しました。

なお、審議された議案の主な内容は、下記のとおりです。

承認

◆平成24年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年3月29日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ2億3千46万1千円を追加し、予算総額を27億2千21万1千円としました。

内容は、普通交付税と特別交付税の交付額の決定による2億5千6万8千円の追加、この交付税の追加に伴う各基金への積立金の追加、地方債借入額の決定による1千70万円の減額が主なものです。

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年5月15日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ3億13万2千円を追加し、予算総額を33億9千8百49万3千円としました。

内容は、鹿部小学校の地下埋設式重油タンクに接続する配管が劣化により腐食

し、重油が漏れ出していたことから、配管改修工事請負費として3億13万2千円を追加したものです。

◆平成25年度鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年5月31日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ1億6千2百11万8千円を追加し、予算総額を10億9千5百71万9千円としました。

内容は、平成24年度の本会計が年度末決算見込みにおいて歳入不足となることから、地方自治法の規定により、前年度会計に繰上充用金として1億6千2百11万8千円を追加したものです。

条例

◆鹿部町職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について

平成24年3月1日に施行された「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」に基づく国家公務

員の給与の削減支給措置を踏まえ、「地方公務員の給与についても、国に準じて必要な措置を講ずるよう要請する」旨の総務大臣通知に鑑み、条例を制定するものです。

内容は、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの9ヶ月間を特例期間とし、55歳以下の一般職員における給料について、給料月額から100分の1.3を減額して支給する。また町長、副町長及び教育長においても職員と同様の減額措置を行うものです。

100分の1.3とは、減額された国家公務員の給料と本町職員給料を比較したラスパイレズ指数が101.3と試算され、国家公務員給料を100とした場合、1.3ほど本町職員の給料が上回ることから、その分を減額するものです。

◆鹿部町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

福島県等による公営住宅の整備を支援する公営住宅法に改正条文が追加されたため、改正するものです。

契約

◆工事請負契約の締結について（ひまわり団地A棟新築工事（建築主体））

【工事名】ひまわり団地A棟新築工事（建築主体）

【契約金額】4億1千2百44万円

【契約の相手方】森川・星組渡辺・佐藤工務店特定建設工事共同企業体

◆工事請負契約の締結について（ひまわり団地A棟新築工事（機械設備））

【工事名】ひまわり団地A棟新築工事（機械設備）

【契約金額】9千百24万5千円

【契約の相手方】昭栄設備工業株式会社

補正予算

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ8千88万3千円を追加し、予算総額を34億7千9百37万6千

円としました。

内容は、間歇泉公園の隣接地の土地購入費5千万円の追加、間歇泉周辺整備基金構想の策定委託料1千万円の追加、防災対策で全国瞬時警報システムから受信

した緊急情報を鹿部町内にいる方の携帯電話にメールで情報発信するシステム購入費1千2百99万9千円の追加が主な内容です。

◆平成25年度鹿部町水道事業会計補正予算について



間歇泉公園の隣接地

収益的支出を7万7千円減額し、収益的支出の総額を9千6百52万1千円としました。

内容は、鹿部町職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定に伴い、水道会計職員2名分の職員給料を減額するものです。

その他

◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

以上2件については、本町が加入している北海道市町村総合事務組合及び北海道町村議会議員公務災害補償等組合に、新たに北空知圏学校給食組合が加入することに伴い、組合組織団体の協議が必要となることから議決を求めたものです。

【以上11件原案どおり可決、承認】



船橋敦子 議員

土産品の開発支援について

第5次鹿部町総合計画の中で観光についての現状と課題として、土産品数が少ないこと、土産品として購入してもらえないものを、より充実させることが必要であることが記されております。

この土産品の開発は、産業の発展や働く場の確保にも結び付くものなので、非常に大切なことだと考えます。しかしこの土産の開発や研究、そして販売に至るまでの過程には多くの知恵や創造力、長い年月が必要であり、この間は産みの苦しみが付うのではないかと思います。こうしたことから、第5次鹿部町総合計画で開発支援に取り組みと謳っておりますが、どのような支援をお考えなのかお伺い致します。

■開発や研究支援の要望が高まった際には、現在の支援事業とは別に、商工会と協議検討する。
(答弁者)

川村 茂 町長

町内のお土産についてありますが、議員のご質問にありましたとおり、鹿部町のお土産品は、町内で水揚げされる水産物や、それらの加工品が主なものとなっております。その品数や町内で味わる地元の料理が少ない状況であることから、町と致しまして、第5次鹿部町総合計画の中で、その充実を観光推進における課題と位置づけたところであります。町におけるこれまでの取り組みと致しましては、平成21年度に鹿部町水産物衛生管理推進委員会がスケソ

親子サンドを開発し、現在も町内イベントで販売されているほか昨年度には、鹿部温泉観光協会が実施している、しかべ観光促進事業において町内飲食店の協力のもと、ご当地グルメ鹿部たらこラーメンが開発され商品化されるなど、ご当地グルメの開発はその一歩を踏み出している状況であります。



鹿部たらこラーメン 鹿部町新ご当地グルメ

一方、お土産品の開発につきましましては、現在進んでいない状況でございますが、近年、住民の皆様の中で、ホタテ餃子やホタテ饅頭などの試作がなされるなど、お土産品開発に対する意識も高まりつつある状況でございます。町と致しま

しては、今後とも商工会や温泉観光協会と連携をし、お土産品開発に対する意識啓発や、しかべ観光促進事業におけるお土産品開発に努めて参りたいと思っております。

また、商工会におきましては、現在、町の補助事業により、鹿部商工会商工業等活性化支援事業を実施しているところであり、企業並びに団体等のほか、事業者自らが行う商工業等の活性化に資する販売促進や消費拡大事業及び、まちの観光PR等鹿部町の発展に貢献する活動等に対し支援を行っております。

この事業の予算額は現在120万円であり平成24年度においては、道内外物産展への参加13件、商品のパッケージ制作2件の計15件の事業が採択されているところであります。

ご質問の、開発や研究に長い年月を要する開発支援については、利用要望が高まることが望ましいと私も考えており、そのような場合につきましては、現在の支援事業とは別に商工会とも協議検討して参りたいと思

考えておるところであります。

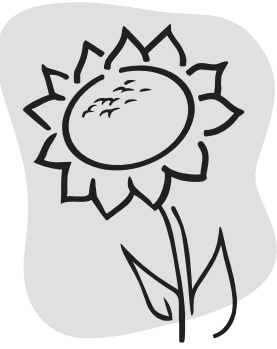
■再質問、再々質問の要約。
(質問者)
船橋敦子 議員

住民の中にも意識が高まりつつあるということ、大変喜ばしい方向に進んでいると思えます。しかし今一度拡大してはと思えます。そして、その場合取り組もうとする個人に対しての即応した支援は何かお考えでしょうか。

また、商工業活性化支援事業については、随分効果が出て来るとも私も認識しておりますが、その中で鹿部観光促進事業の中の開発、これには鹿部商工会や温泉観光協会の連携が大事ですが、町独自としてはどのようなリーダーシップを執って行くつもりでしょうか。

■再答弁、再々答弁の要約。
(答弁者)
川村 茂 町長

商工業活性化支援事業は、町の方から積極的に、



平成25年第2回臨時議会

このような事業をやつてはどうかということ、120万円の補助をしており、できればこの中で商品開発も一緒にやつて頂ければと思つておりますが、現在、この補助事業の要綱の中には商品開発の部分が網羅されていないので、この要綱の中でできるものなのか、また別枠の補助を設けるのかを商工会とも十分に協議し早急に検討して参ります。

承認

平成25年第2回臨時議会は、4月22日招集され、次の案件について審議されました。

◆平成24年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年3月19日付けで専決処分したもので、予算額の増減はなく債務負担行為のみの補正です。

内容は、平成24年度の北海道の補助事業である「緊急雇用創出推進事業」の「起業支援型雇用創出事業」を活用して、介護人材育成を図る申請を行ったところ、事業採択内示を受けたものです。

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年3月19日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ6百36万1千円を追加し、予算総額を33億9千5百36万1千円としました。

内容は、前項の専決処分でありました、北海道の補助事業である緊急雇用創出推進事業補助金の追加です。

補正予算

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算について

補正予算の増減はなく債務負担行為のみの補正です。

内容は、観光振興を図るため今年5月から活動を開始する「地域おこし協力隊」が使用する車両を3年間リース契約するためのものです。

条例

◆鹿部町条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部改正に伴い本条例の一部を改正する

ものです。

主な内容は、個人住民税に係る住宅借入金等特別税額控除の延長及び、東日本大震災により被害を受けた土地及び家屋に係る固定資産税の課税免除措置を追加するものです。

◆鹿部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い本条例の一部を改正するものです。

内容は、国民健康保険税の特定世帯（国民健康保険に加入している世帯員が、後期高齢者医療制度へ移行し、被保険者が1人となった世帯）の軽減措置を追加するものです。

◆鹿部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

平成24年5月11日に公布された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき、国から新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発せられた際に、町が設置する対策本部に関する条例を制定するものです。

【以上6件原案どおり可決・承認】

用語辞書 【債務負担行為】

一つの事業・事務が年度内で終了せずに後の年度において支出しなければならぬ場合、あらかじめ債務を約束することを予算で決めておくこと。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、9月上旬に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。

委員会の活動

総務経済常任委員会 所管事務調査

◇総務経済構成委員

委員長 盛田 鐵次
副委員長 朝井 翔二
委員 佐藤 頼幸
委員 船橋 敦子
委員 吉 英樹

◇調査事項

町税及び国民健康保険税の収納状況について

◇調査年月日

平成25年5月9日

◇調査方法

担当課より提出された関係資料に基づき説明を受け、調査を実施した。

◇調査結果

鹿部町の自主財源である町税は、歳入全体の約15%を占めるものであり、その平成24年度の町税（町道民税個人分、町民税法人分、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税）の収納状況は、平成25年4月末現在では、調定額5億2千62万9百64円に対して収入済額5億35万6千39円となっており、収入未済額2千12万9千9百25円、収納率95.92%となっている。前年同時期と比較すると、

収入済額で1千7百81万1千8円増、収入未済額で2百67万1千7百87円の減となり、収納率は0.62ポイント上昇している。

同じく平成24年度の滞納繰越分については、調定額8千7百40万5千4百3円に対して、収入済額1千2万9千6百42円となっており、収入未済額7千5百19万3千61円、収納率12.62%となっている。前年同時期と比較すると、収入済額が2百75万2千2百70円の増となっているが、収入未済額でも8百83万3千9百70円の増となった。収納率については5.36ポイント上昇している。

次に国民健康保険税の収納状況については、調定額2億2千5百16万8千5百円に対して収入済額2億3百98万3千4百36円となっており、収入未済額2千18万5千64円、収納率90.59%となっている。前年同時期と比較すると、収入済額で5百6万9千5百67円の増、収入未済額で5百33万4千4百67円の減となり、収納率は2.36ポイント上昇している。

また平成24年度の滞納繰越分については、調定額1億2百90万5千6百83円に対して、収入済額で1千5百28万7千5百85円となっており、収入未済額8千6百37万4千7百98円、収納率14.86%となっている。前年同時期と比較すると、収入済額で60万7千34円の増だが、収入未済額で3百69万1千6百26円の増となっており、収納率は5.86ポイント上昇している。

以上のことから町税、国民健康保険税の両方とも、現年度分の収入未済額が減少し、徴収率が上がっている。しかしながら滞納繰越分については、収入済額、収納率については増加しているが、収入未済額についても増加している。

滞納の解消に向けた取組については、しかべ広報への掲載、防災無線を使つての納付のお願い、また悪質な滞納者については、渡島檜山滞納整理機構へ徴収を依頼している。

先にも述べたとおり町税は、町財政の貴重な自主財源であり、滞納が増えることは行政サービスの低下に

もつながることから、今後においても徴収体制の強化徹底を図り税負担の公平を期すため、滞納の解消に努められたい。

また国民健康保険税は、万一病気やケガになった場合、安心して医療を受けられるよう、加入者が保険料を出し合う相互扶助の制度であり、現在その運営は大変厳しい状態となっていることから、国民健康保険税についても税負担の公平を期すために滞納の解消に努められたい。

◇調査事項

給食センター及び教育施設の給食搬入口の視察

◇調査年月日

平成25年5月8日

◇調査方法

担当課より提出された関係資料に基づき説明を受け、現地調査を実施した。

◇調査結果

視察の結果、給食センターの食材搬入口及び給食搬出口については、施設内に虫等が入らないように搬出口上部から風が送られていて、衛生管理については徹底されており、構造的にも業務を行う上で支障を来たすようなものは無かった。

また、幼稚園、小学校及び中学校の各教育施設給食搬入口についても、支障になるようなものは見受けられなかった。

学校給食は、児童生徒の食育という部分から非常に重要なものであることから、今後も引き続き徹底した施設の安全管理と衛生管理に努め、安心安全な給食を提供されたい。



民生文教常任委員会 所管事務調査

◇民生文教構成委員

委員長 浦 梅吉
副委員長 川村 裕司
委員 竹ヶ原公勝
委員 中川 一
委員 野田 重毅

行政視察及び研修会報告

平成25年6月26日～28日の3日間、胆振管内豊浦町へ行政視察、研修会として北海道町村議会議長会主催による議員研修会に出席して来ました。

行政視察

【胆振管内豊浦町概要】

いちこの名産地として有名な豊浦町は、道内では比較的温暖な気候に恵まれた静かな町で、胆振管内の西端に位置しており、町の南側は噴火湾に面し、巨岩や断崖が入り組んでおり、対岸には駒ヶ岳を眺望できる。また、町の北側は森林と田園が広がり、壮大な山と緑に囲まれている。町の人口は、4,403人(平成25年5月31日現在)となっており、昭和35年の10,439人をピークに人口の減少が続いている。また、町の面積は233.54キロ平方メートルで、そのうち約7割を山林が占めている。



町の産業は第一次産業を中心に発展し、特に農業・漁業は町の経済・雇用を支える基幹産業となっている。農業は、水稲、畑作のほか畜産が営まれており、なかでも地域ブランドである「豊浦いちご」や臭みがなく旨みの豊富な「SPF豚」は町の特産品となっている。漁業は、ホタテ養殖が全漁獲生産額の約8割を占め、胆振管内の約半分は豊浦町産となっている。

【観光振興について】

豊浦町の平成24年度の観光入込客数は35万1千77人で前年度に比べ0.5%減少している。最近10年間で最も多い平成16年度と比較すると約10万人(▲23%)減少している。

観光入込客が多いのは、天然豊浦温泉「しおさい」と道の駅とようらで、両施設で全体の約7割を占めている。またその他には、キャンプや海水浴で賑わう豊浦海浜公園や道央自動車道パーキングエリアと国道37号線の両方に直結している噴火湾展望公園などの施設がある。

新たな取り組みとして、修学旅行生と町民の交流を目的とした「豊浦町生活体験(民泊)事業」やホタテの名産地としての知名度向上と豊浦産ホタテの販売促進を目的とした「世界ホタテ釣り選手権大会」が行われており、年々集客数や活動の幅が広がっており、観光の新たな基軸として期待されている。

また、町の三大特産品である「豊浦いちご」「SPF豚」「噴火湾ホタテ」の

ほか、「秋サケ」など、海の幸、山の幸が楽しめる三大イベントは、毎年多くの人で賑わっている。

【人口減少対策について】

豊浦町では、人口減少対策として平成16年に定住促進条例を制定し、以後、定住施策に積極的に取り組んでおり、町の魅力である自然や酪農を体験することができる移住体験施設「移住体験ハウス」を提供し、一定の期間町内に住んでもらうことで移住の促進を繋げる取組を行っている。

具体的な定住を後押しする支援策として、「持ち家住宅取得奨励事業」を実施し、豊浦町に定住する意思のある方が、町内に住宅を新築、全面改築(建替え)及び中古住宅を購入した場合などに奨励金を交付している。その他、起業化促進事業・宅地分譲事業・定住促進住宅建設事業・新規就農者支援事業を行っている。

子育て支援としては、乳幼児等医療費給付事業として、医療費の全額無料化。乳幼児・児童予防接種事業

として、予防ワクチン接種の無料化。出産祝い金として、出生子1人につき、5千円を支給している。また、不妊治療の全額補助もを行っている。

【最後に・・・】

今回の行政視察では、当町と人口規模が似ている豊浦町を視察し、今後の当町の課題である、観光振興について、また人口減少対策について、学ぶべき部分が大変多く、予定しておりました所期の目的は十分に達成されたと感じております。今後これらの成果を町政に反映し、鹿部町の発展のために尽力して参ります。

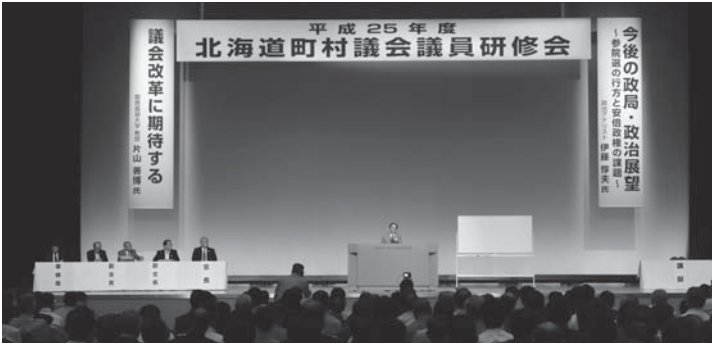
◇視察参加者

議長	長	野田 重毅
副議長	長	竹ヶ原公勝
議員	員	盛田 鐵次
議員	員	浦 梅吉
議員	員	朝井 翔二
議員	員	佐藤 頼幸
議員	員	中川 一
議員	員	川村 裕司
議員	員	船橋 敦子
議員	員	吉 英樹
以上10名		

議員研修会

今年の北海道町村議会議員研修会は、慶應義塾大学法学部教授の片山善弘氏、政治アナリストの伊藤惇夫氏を講師に招き、「議会改革に期待する」「今後の政局・政治展望」と題して講演を頂きました。

研修には全道の議員が出席し、長時間にわたる講演にもかかわらず、熱心に耳を傾けていました。



平成25年5月～平成25年7月 本会議及び各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席、△は遅刻・早退、—は該当なし)

会 議	竹ヶ原公勝	浦梅吉	吉英樹	朝井翔二	盛田鐵次	野田重毅	川村裕司	船橋敦子	佐藤頼幸	中川一
民生文教常任委員会所管事務調査 (5/8)	○	○	—	—	—	○	○	—	—	○
総務経済常任委員会所管事務調査 (5/9)	—	—	○	○	○	○	—	○	○	—
議会運営委員会 (5/24)	○	×	—	—	—	○	○	—	○	—
平成25年第3回議員全員協議会 (5/24)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (6/10)	○	○	—	—	—	○	○	—	○	—
平成25年第2回定例会 (6/13)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
民生文教常任委員会所管事務調査 (7/10)	○	○	—	—	—	○	○	—	—	○
総務経済常任委員会所管事務調査 (7/11)	—	—	○	○	○	○	—	○	○	—
議会運営委員会 (議会だより編集 7/16)	○	○	—	—	—	—	○	—	○	—

議会の行事

5月

- 1日 鹿部救難所幹部会 (議長)
- 2日 鹿部交通安全推進委員会総会 (議長)
- 8日 民生文教常任委員会所管事務調査 (関係委員)
- 9日 総務経済常任委員会所管事務調査 (関係委員)
- 18日 鹿部中学校体育祭 (議長ほか議員)
- 21日 鹿部商工会通常総会 (議長)
- 22日 渡島総合開発期成会総会 (議長)
- 23日 渡島福社会評議員会及び理事会 (議長ほか関係議員)
- 24日 議会運営委員会 (関係委員)
議員全員協議会 (全議員)

- 5日 渡島町村議会議長会臨時総会 (議長)
北海道町村議会議長会定期総会 (議長)
- 10日 議会運営委員会 (関係委員)
- 13日 第2回定例会 (全議員)
- 16日 自衛隊函館地方協力本部創立57周年記念祝賀会 (議長)
- 21日 第1回南渡島消防事務組合議会臨時会 (関係議員)
- 26日 渡島総合開発期成会札幌要望 (議長)
鹿部町議会議員行政視察 (議長除く議員)
- 27～28日 北海道町村議会議長会主催議員研修会 (全議員)

7月

6月

- 1日 鹿部小学校運動会 (議長ほか議員)
- 3日 鹿部町温泉観光協会通常総会 (議長)

- 10日 民生文教常任委員会所管事務調査 (関係委員)
- 11日 総務経済常任委員会所管事務調査 (関係委員)
- 16日 議会運営委員会 (関係委員)